

ななかま



プリンストン日本語学校

28年度 No.33

平成29年1月15日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



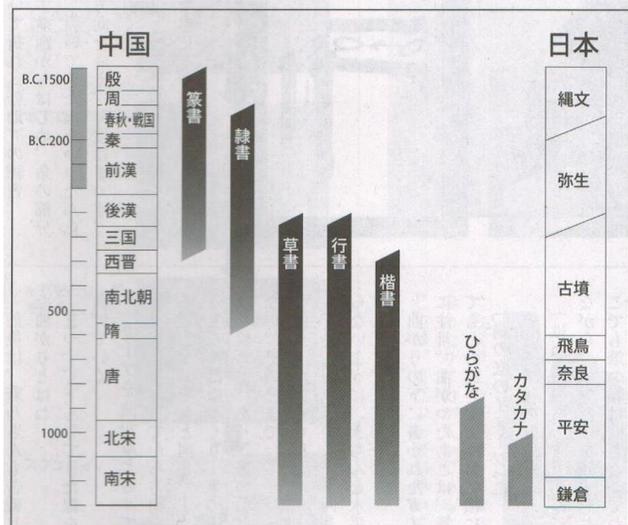
書初め① (高学年の皆さんへ)

先週から、書初めが実施されています。筆を使うことは
運筆の基本になりますが、筆を使うことで文字を書くこと
の楽しさも味わってほしいと思います。漢字は
およそ2000年前に中国から伝わったといわ
れます。初めは亀甲や獣骨、石や青銅器に
刻まれていましたが、紙と墨の発達によって書
くことが簡単になって広まっていったようです。
さて、書体には次のようなものがありますが、皆さんにな
じみのある楷書体は一番新しい書体となります。



象形文字	篆書	隸書	行書	草書	楷書

次の資料をみると、日本に漢字が伝わってきたころには、
いろいろな書体がすでにあつたことがわかりますね。漢
字の一部を用いたカタカナは、一番新しいこともわかり
ます。「学校では、平仮名よりもカタカナから勉強した方
がいい」という人もいますが、君たちはどちらがいいでし
ょうね。



みなさんの作品は、来週展示します。文字を「見る」こと
も楽しんで下さい。(資料は『海外子女教育：2015.9月号』より)

1月のおしらせ

説明会

15日は、放課後にはプリンストン中高部高学年及び高
等部の説明会が予定されています。進級を予定されて
いるご家庭は、保護者生徒で参加することになります。
また、13:00からはプリンストンコース説明会が実施さ
れます。両説明会ともに、在校生の保護者の皆さんも
参加することが出来ます。本校教育の理解につながる
ことと思います。

「日本文化時事問題」 クラス授業見学案内

実施日: 1月29日

時間: 4時30分～5時15分(110教室)

対象: 小6、中学1・2年、プリ小高・プリ中高低
別紙にて案内を配信します。

今後の予定

- 本日** 書初め②(ご協力ありがとうございます)
Pコース説明会 13:00～13:45(301)
P高・高等部見学会/P中高高・高等部入学説明会
(1F 高等部教室)
冷泉彰彦氏講演会 14:45～
係担当部長会議 13:45～
- 1月22日** 書初め展示/幼稚部書初め
ADULT 春コース開始
- 1月29日** 幼稚部豆まき(中庭)
日文見学会(小6、中1・2、P小高、P中高低
燦々プロジェクト: 小野先生講師 13:30～
総務オフィサーミーティング 14:45～

表現学習発表会優秀者発表より②

生徒が選んだ優秀賞

「寿司を知らないアメリカ人」 高等部 高木真里奈

「皆さんはお寿司を作ったことはありますか? 実際に作
って見たことは無くても、巻いているところを見たことは皆
あると思います。魚と米をのりに巻いて切るだけです。」

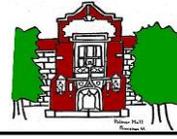
なかま

プリンストン日本語学校

第28年度 No.33

平成29年1月15日

文責 荒川雄之 arakawa@pcjls.org



っても簡単にできる寿司はアメリカ人にとっては別の世のものに見えることは、私は最近まで知りませんでした。

今年の6月、現地校の世界史の授業のことです。クラス全員が外国の料理を作って持ってくるプロジェクトがありました。私は日本料理を代表とする寿司を持って行きました。驚いたことに、クラスメイトのみんなが私の作った寿司をパクパクと食べていました。中には私の寿司が初めてだという人もいました。私は一日中スシマスターと呼ばれました。

寿司はInstagramやブloggerに人気のため、こんなに高く評価されるとは思っていなかったのです。私はとても驚きました。そこで気が付いたのです。日本人にとって普通と思うものでも、アメリカ人は全く理解していないことがあるのです。

私は二年生の時に東京からアメリカに引っ越してきました。その時からアメリカ人と馴染もうと頑張りましたが、所々アメリカ人と話が合わないことがあります。例えば、まだ使える鉛筆を捨ててしまう、物を大切にしないアメリカの文化は十年ここに住んでいる今でも理解できません。

それでも、私は完璧な日本人でもありません。日本に戻っても、カルチャーショックで階段を反対側から登ったり、日本のハイテクイレに驚かされます。日本人から見たら、私はアメリカナイズされているでしょう。日本語の会話でも、分からないことを質問するために、無意識に手を挙げ、I don't know! と言ったり、No, と言いながら首を振るのが癖になっています。

アメリカでも、日本でも文化に完全に馴染んでいない私は、高校の始めから私は誰なのか、何人なのかと悩んだことは何回もあります。しかし、両方の文化を知っていて、両方の国に育ったことは、ほとんどのアメリカ人や日本人は経験したことはないと思うと、アメリカに住んでいることを誇りに思います。

色々と文化や考えかたの違いはありますが、その違いをお互い教えあっていくのが、外国人の私の義務だと思います。

現地校での寿司のプロジェクトの時、私はアメリカ人からスシマスターと呼ばれ、ビックリしましたが、今ではアメリカ人が日本の文化を知らないのは当たり前だということ

が分かりました。これからアメリカ人、それと他の国の人たちに日本の文化の面白さ、美しさを教えたいと思います。皆さんもアメリカに住んでいる日本人として、日本を代表して文化を教えあうことをオススメします。」

私の原籍の千葉県では、節目節目の年中行事に「太巻祭り寿司」が作られます。自然に恵まれ、気候に恵まれている千葉県ですが、全国に知られるような特徴ある郷土料理はあまり多くありません。写真のような巻き寿司ですが、いかがでしょう？

別件ですが、寿司を握る板前さんになるのには比較的短い修行で可能といいます。それでも、和食で一人前の板前になるのには15年ほどかかるのに対して、寿司は煮方・焼き方がない分10年ほどの修行でいいという程度とか。何事も、基本を身に着けるといのは大変なことですね。更に、技を磨いていくのは一生。社会に出てからのことを考えると、限られた学校の勉強くらいで、へこたれているわけにはいきませんね。にっこり笑って、頑張らましょ。

